

# 平成29年度第1回浦河町社会教育委員会議報告書

■日 時 平成29年5月30日（水） 18：30～

■場 所 浦河町総合文化会館 2階 第3研修室

■出席者

＜社会教育委員＞ 13名

津澤静子委員、松田芳宏委員、野上由佳委員、関口明子委員、米山 豊委員、  
坂本廣子委員、三浦敦子委員、小林光紀委員、中山 敏委員、野崎 充委員  
菅 正輝委員、久保珠里委員、郷家丈史委員

【欠席委員】 7名

生田仁志委員、松本正美委員、谷川雅隆委員、奈良淳弘委員、大野初美委員  
柵山和宏委員、向谷地悦子委員

＜教育委員会＞

浅野教育長、石見社会教育課長、民部課長補佐、白浜主幹、菊地主任、  
早坂主事、武田主事

## 1. 委嘱状交付

- ・浅野教育長から人事異動等で変更のあった社会教育委員に委嘱状が交付されました。

## 2. あいさつ

## 3. 説明

- 1) 社会教育委員の役割について別紙資料1に基づき事務局より説明
- 2) 平成29年度社会教育事務事業について別紙資料2に基づき事務局より説明
- 3) 日高管内社会教育委員研修会について別紙資料3に基づき事務局より説明
- 4) 自己紹介 各委員、社会教育課職員自己紹介
- 5) その他

### 【A 委員】

・社会教育委員になってから、もう何年いるんだろうというぐらい長くやっているが、改めて資料を見ると知らないことも沢山ある。

・九十九大学は一体何歳から加入できるんだろうとか、私も桂三段の独演会聞きたいなと思った時これに入らないといけないのか？そういうことを思いながら、知らないことがいっぱいあるなと思っていました。

・実は今年の三月で一番下の子が浦校を卒業したので、実質もう子供は浦河にいないが人気が来年3月までということもあり、またこの地域には子どもの同級生もまだ沢山いる。小さいときからのお母さんお父さんの横のつながりもあるので、これからも私に出来ることがあればお手伝いさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

(事務局)

・九十九大学は一般の方も参加できる。

・今年度から九十九大学で子育て医療課のマイレージポイントの導入ということで、詳細は長くなるため省くが、ポイントをためると商品券をもらえる。九十九大学全5回をすべて受講されると2ポイント貯まるようになっている。5ポイントで1000円、6ポイントで3000円の商品券がもらえる。今年からそういう事業も始まるので、是非参加していただきたいと思う。

### 【B 委員】

・社会教育委員になって3期か4期になると思うが、シルバーPTAの取り組みをすることで子どもたちが挨拶が出来る様になってきた。平成16年からやっているが、その当時、道内でも子供に声をかける不審な事案が全国でも多発したことから、高齢者の方たちによって社会貢献の一つということで、高齢者の散歩時間を街頭啓発に当ててもらっている。一時間くらいやっている。そこで大きかったのは、同じ町内会でも顔は知っているが話したことはないという人が多い。こういった方たちを、見回りをする際に3人から4人一組でやっている。この組を毎回、組み替えることでいろいろな人と1時間おしゃべりしながら、連携もとれてきている。もう一つは災害発生時にはお互いに助け合うような絆を作るのにも貢献してきたかなと思っている。こういった活動をこれからも続けていきたいと思っている。また、出来れば町内の各自治体、そういった団体でもこの活動を取り入れてやってほしいなと思う。

(事務局)

・委員さんには、「宇宙飛行士の野口さんのお話を聞いてみたい」と仰ってください、それがきっかけとなって実際に野口さんと呼んだ経緯もありますので、今後も講師の選定よろしくをお願いします。

### 【C 委員】

- ・普段は西舎の人よりも馬の方が多いうなところにいる。事務局から社会教育について色々聞いているが、すごくたくさんのお仕事があるなと改めて感じる。
- ・野口さんの講演では、子どもたちが目を輝かせて話を聞いていた。子どもが興味を持ってくれるようなお仕事をたくさんやってほしい。今年度も、オズの魔法使いや劇団四季など私が観たいなと思うようなものがある。この調子でやってほしいと思う。

### 【D 委員】

- ・子どもたちが、この場にいる方々達にお世話になっていることを改めて感じた。
- ・本校だけでなく町内の小学校が、健全育成、体験活動、見守りなど尽力していただき地域との結びつきの強い町だと改めて感じた。
- ・子どもたちにも学んだことを地域の中で、人と触れあい、故郷の良さを発見しながら子ども達の生きる力となるように指導をしている。学校も積極的に参加させたいと思う。

### 【E 委員】

- ・以前に別のまちで教育委員会の社会教育の担当にいたこともあったので、このような場に参加できることを嬉しく思う。
- ・色々な行事を展開していることは分かったが、町民や子ども達にどの程度伝わっているのか疑問である。知らない人、分からない人も多いのではないかな。いかに周知していくのかも考えていく必要があると思う。
- ・また、本校の吹奏楽部を是非活用していただきたい。披露する場があることで技能向上につながり、自信もつく。
- ・プロスポーツ応援で言えば、レバンガ北海道も是非応援してほしい。そのときは応援団長として参加する。